



木地師のふるさとアーカイブ・プロジェクト

ボランティアスタッフ募集



参加費:無料
(現地までの交通費等は自己負担)

東近江市では、市所有の木地師関連資料の整理・分類作業を担っていただくボランティアスタッフを募集しています。

- 活動概要 -

・作業場所 →詳細地図裏面
-前半-

旧湖東歴史民俗資料館

(東近江市北菩提寺町126番地)

-後半-

東近江市能登川博物館

(東近江市山路町2225番地)

・時間:午後1時30分~午後4時30分(全日程)

・日程 ※予定が変更になることもあります

前半期間:令和5年4月~10月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
26(水)	10(水) 24(水)	7(水) 21(水)	5(水) 26(水)	23(水)	6(水) 21(木)	12(木) 25(水)

後半期間:令和5年10月~令和6年2月

11月	12月	1月	2月	3月
8(水) 22(水)	6(水) 20(水)	17(水) 31(水)	15(木) 28(水)	—

10月も旧湖東歴史民俗資料館で作業を実施します。

-参加条件-

- ・作業場所まで各自で通える方
 - ・熱意がある方
 - ・木地師文化に興味がある方
 - ・木地師資料の整理に携わりたい方
- ※古文書の読解力や文化財に関する知識は、特に必要ありません。

毎回の参加が望ましいですが、可能な範囲の参加で構いません。

問い合わせ・申込先:木地師のふるさと発信事業実行委員会(事務局)東近江市企画部企画課

TEL:0748-24-5610 IP:050-5801-5610 FAX:0748-24-1457

E-mail:kikaku@city.higashiomi.lg.jp

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

●木地師について

木地師とは、轆轤（ろくろ）と呼ばれる工具を使い、とち・ぶな・けやきなどを材料にして、主に椀や盆などの木地をつくる職人のことをいいます。木地師のつくる製品には、日用食器等の他、コマやこけしのような民芸品もあり、古来から日本人の生活の中で親しまれてきました。

●木地師のふるさと東近江市

「小椋谷（おぐらだに）」と呼ばれる東近江市蛭谷町・君ヶ畑町は木地師発祥の地と言われています。かつて、木地師の多くは、良材を求め日本各地を移住する生活を送っており、その身分を保証し、保護・統轄する場所が「小椋谷」にありました。「小椋谷」にある公文所・御所から役人が全国各地の木地師を訪ね歩く「氏子かり」を行い、氏子料等を徴収するほか、神札や鑑札（営業許可書）などを配布していました。

東近江市小椋谷から全国に広がった木地師は日本のものづくりの発展に大きく関わり、数多くの木地製品や歴史的資料が各地に残されています。東近江市は、各地の木地製品・資料を適正に保管するとともに、次の世代に継承するため、収集・分類・整理し、木地師のふるさとにふさわしい拠点づくりを目指しています。

●木地師のふるさとアーカイブ・プロジェクトについて

「木地師のふるさとアーカイブ・プロジェクト」では、平成30年度から木地製品・資料等の計測や写真撮影等の作業を開始し、これまでに約1,200点の整理を終えました。今年度からは新たに旧湖東歴史民俗資料館の資料整理に着手します。計測や図面作成、写真撮影等をお手伝いしていただきながら木地師のことを知ってもらい、優れた木地製品に触れてもらう機会としてボランティアを募集しています。

作業は、龍谷大学 須藤護名誉教授の指導のもと行われ、須藤名誉教授の探究心をくすぐるレクチャーや、参加者が木地師や木地文化について興味のある事柄を調査し、参加者同士で発表しあう時間もあり、作業を行うだけでなく、楽しく木地師の文化について学ぶことができます。



▲寸法計測・製図を行う様子



▲作業の中で興味を持った事柄を調査し休憩時に発表し合うレクチャータイム



▲参加者同士教えあって作業しています

木地師に関すること、森や自然のことを学びながら、ボランティアに参加してみませんか？

- 作業場所詳細 -

- 前半 - 旧湖東歴史民俗資料館

(東近江市北菩提寺町126番地)



- 後半 - 東近江市能登川博物館

(東近江市山路町2225番地)

